

サプライチェーンを揺るがす「DX推進の死角」

AI活用で実現する

抜け目ない脆弱性対策 とは

登壇者紹介



株式会社エーアイセキュリティラボ

事業企画部 ディレクター **阿部 一真** (あべ かずま)

新卒でNTTデータに入社し、Salesforceビジネス推進部門でコンサルティングセールス・カスタマーサクセスを経験。

その後、AIベンチャー企業・SaaSスタートアップ企業にてCS責任者およびプロダクトマネージャー・事業統括責任者を歴任し、エーアイセキュリティラボに入社。

現在はCXチームでの活動に加え、新規プロダクト企画・海外事業展開など全社横断プロジェクトにも携わる。

あらたな答えを、つぎつぎと。

変化の激しいサイバーセキュリティの世界。

私たちは、未知の課題が生まれるたび、培った知見と経験・実績をもとに、「あらたな答え」を世の中に提供し続けていきます。

世界も驚くような、技術の力で。

そして、サイバーセキュリティの進化を通して、人は、人にしかできない、創造性を活かした仕事に注力できる、社会の進化にも貢献していきます。

**「DX推進の死角」に
気づいていますか？**

サイバー攻撃、特にランサムウェアによる被害が話題に

大手飲料メーカー

2025年9月、ランサムウェア攻撃により、システム障害が発生。**国内グループ各社の受注・出荷業務が停止**。さらに個人情報流出した可能性があると発表された。

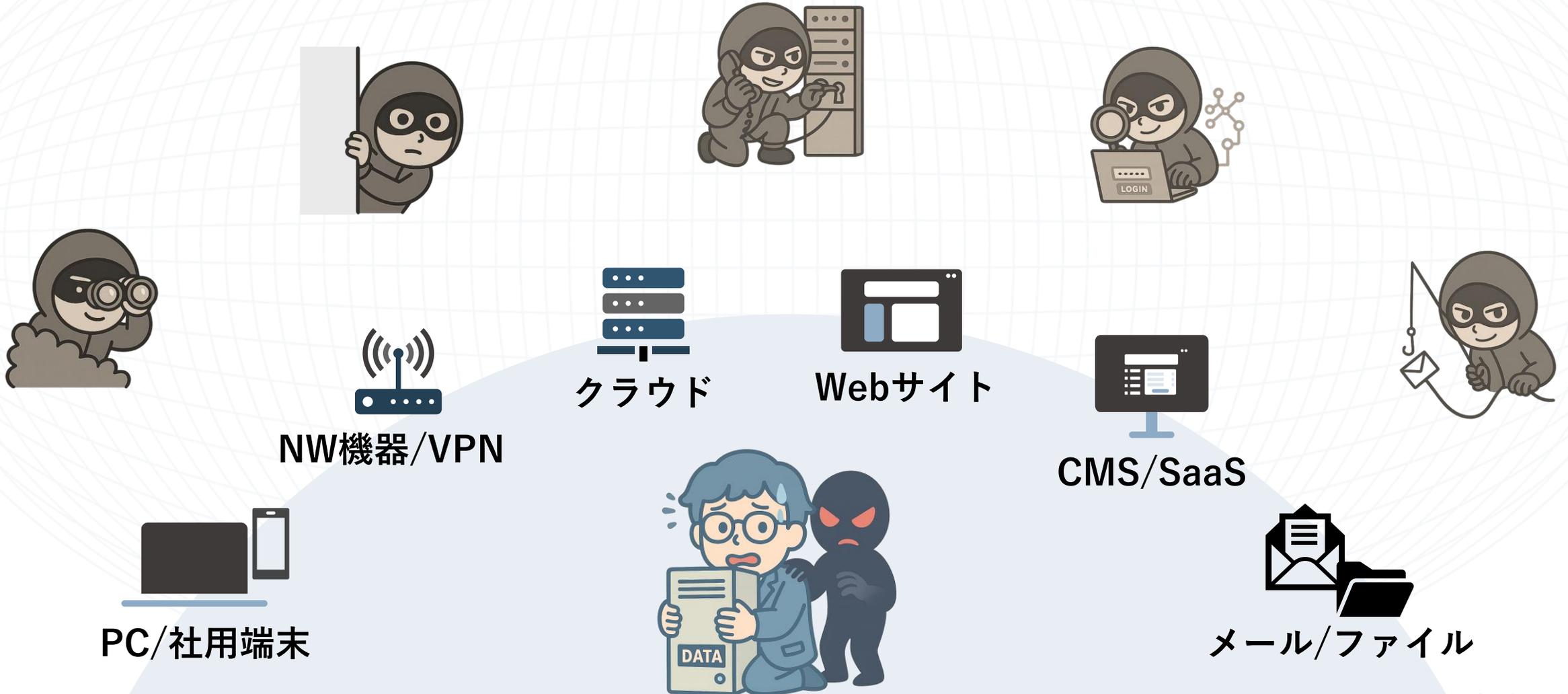
大手通販業者

2025年10月、ランサムウェア攻撃によりシステム障害が発生し、受注・出荷業務が停止。**同社の子会社に配送の一部を委託する別会社のECサイトも停止に**。

業務停止・システム停止による事業影響、社会的信頼・株価への影響だけでなく
取引先やグループ会社、サプライチェーンを巻き込む被害に発展



多様化するランサムウェアの「侵入経路」



「DX推進の死角」は、どうやって生まれ、どこにあるのか？

公開するWebサイトや
提供するWebサービス
が増えている



開発規模・サイト規模
が大きくなっている
(100画面以上ある)



機能改修・追加など
リリース頻度が高く
間隔も短くなっている



知らないうちに作られ
公開されていたWebサイト



新規リリース時に診断したきり
何もやっていないWebサイト

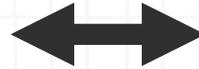


リリース前の診断が追い付かず
脆弱性が残っているWebサイト

| IT部門・セキュリティ部門の皆様から伺う「お悩み」

予算が限られている

人員も限られている



対策すべき範囲 **増**

必要な対策の幅 **増**

| 全てのセキュリティ対策をやりきるのは難しい…

Webアプリケーションのセキュリティ対策項目

Webアプリケーションの セキュリティ対策

- ① ファイルの公開設定
- ② Webページの公開設定
- ③ 脆弱性への対策
- ④ ソフトウェアの脆弱性対策
- ⑤ エラーメッセージの設定
- ⑥ ログ管理
- ⑦ 暗号化
- ⑧ 不正ログインへの対策

Webサーバの セキュリティ対策

- ⑨ バージョンアップを行う
- ⑩ 不要なサービス・
アプリケーションの停止
- ⑪ 不要なアカウントの削除
- ⑫ 安全なパスワードの設定
- ⑬ アクセス制御
- ⑭ ログ管理

ネットワークの セキュリティ対策

- ⑮ 不要な通信の遮断
- ⑯ 通信のフィルタリング
- ⑰ 不正な通信の検知・遮断
- ⑱ ログ管理

その他の セキュリティ対策

- ⑲ クラウドサービスへの
セキュリティ対策
- ⑳ Webアプリケーション・
Webサーバ・ネットワークへの
定期的な脆弱性診断



待てよ、**AI**とか使えないかな…？

「脆弱性診断」は、AIとの相性ピッタリ♡

継続的・永続的に対策が必要



人力では生産性が上がらない

網羅的に診断することが望ましい



網羅性を高めると費用も増える



AI・ツールを使って自動化・内製化ができれば

費用・工数を抑えながら、網羅的・継続的な対策！

| 脆弱性診断を自動化・内製化するときに考えること



何かしらのツールを使って内製化できればいいんだけど・・・

診断の品質を維持
できるだろうか？

診断員を育成・確保
できるだろうか？

コスト(費用・時間)
を削減できるか？

脆弱性診断を自動化・内製化するときを考えること

診断の品質を維持
できるだろうか？

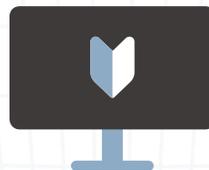
プロ級の機能・性能



誤検知・過検知が少なく
外部委託（手動診断）に近い性能

診断員を育成・確保
できるだろうか？

誰でも使える操作性



ツール習得コストがかからず
すぐに・簡単に利用できる

コスト（費用・時間）
を削減できるか？

利用範囲・回数が無制限



画面数やサイト数に制限がなく
いつでも・いくらでも使える

| 本日のまとめ

1 「DX推進の死角」はWebアプリ・Webサイトにあり

2 自社のWeb資産とその現状を把握し
効率的・網羅的な脆弱性対策を始めるべし



脆弱性対策の強化は、**AeyeScan**がご支援します！



生成AI時代の脆弱性診断なら

AeyeScan



クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1※



※富士ケメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
Webアプリケーション脆弱性検査ツール ベンダーシェア（2024年度実績）

※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型
Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2023年度実績）

有償契約
300社以上



スキャン登録

結果レポート



自動診断



01

高精度なAI活用

巡回精度が高く
画面遷移図で見てわかりやすい

02

学習コストゼロ

開発やセキュリティの
知識がなくてもすぐに使える

03

業界標準対応

外部委託と遜色なく
内製化が可能

| AeyeScanが選ばれている理由



誰でもかんたん操作



開発やセキュリティの知識がなくても、
トレーニングなしで診断可能。



AIによる自動診断



圧倒的な巡回精度で
24時間自動で診断。
画面遷移図で状況を可視化。



わかりやすいレポート



各種ガイドラインに準拠した
プロ仕様のレポート出力、
日本語と英語に対応。

| AeyeScanが選ばれている理由

誰でも使える操作性

×

プロが認める機能・性能

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

製造



インフラ

金融

メディア



人材・教育



エンタメ



SaaS



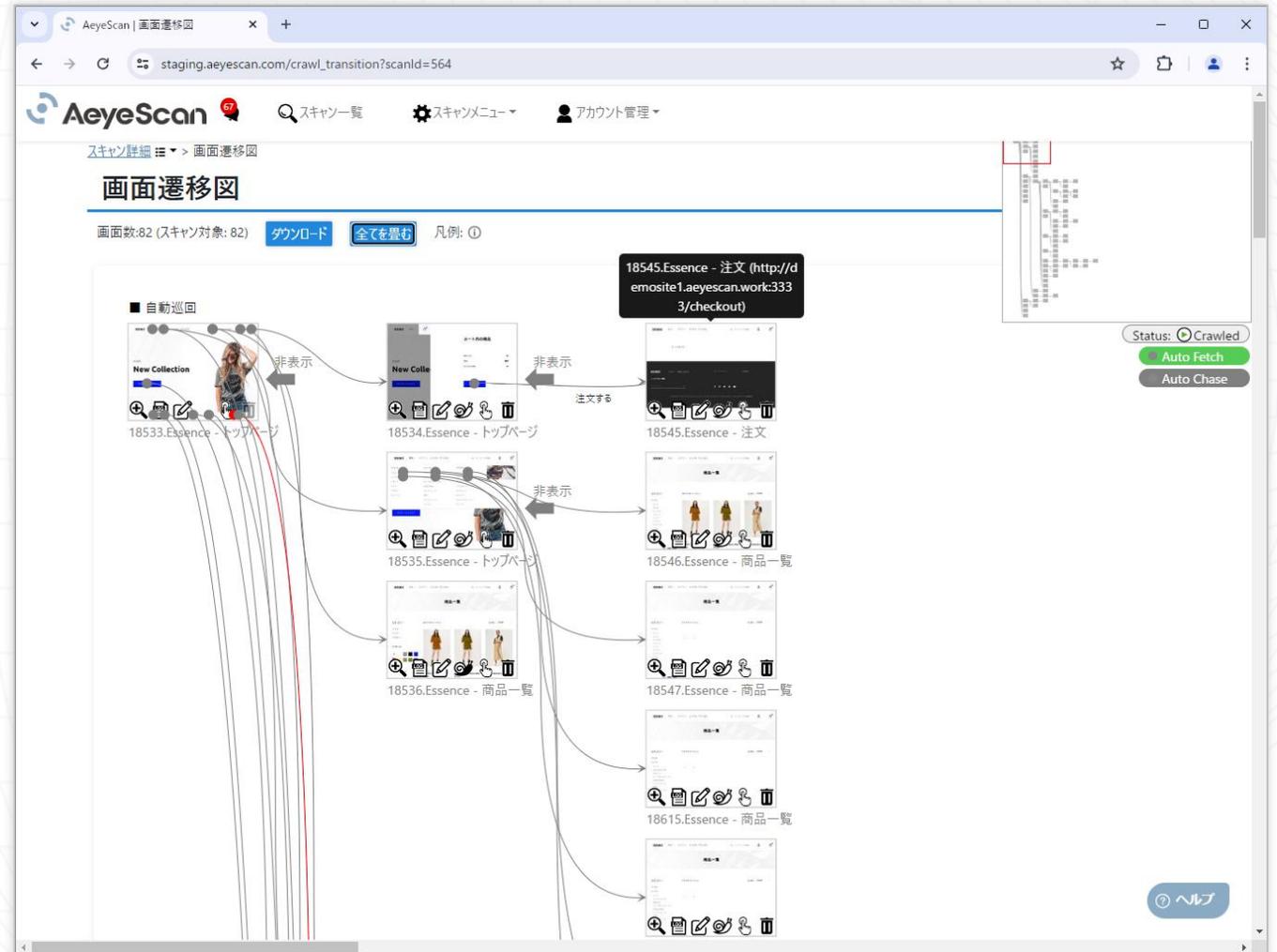
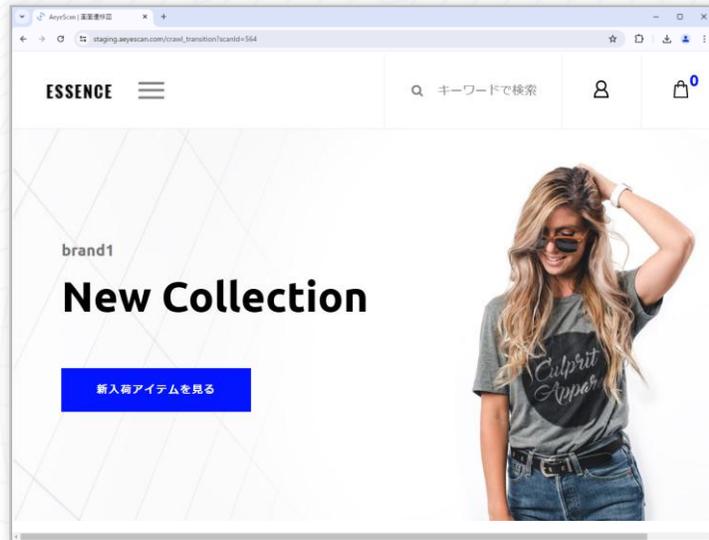
SI・IT企業



セキュリティ企業



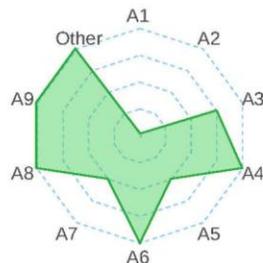
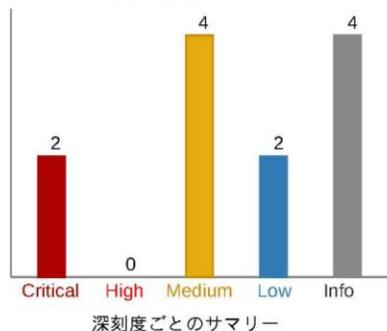
巡回時に、自動で画面遷移図を生成



結果がわかりやすく、すぐさま修正作業に取り組めるレポート

スキャンサマリー

全体評価 **Critical**



脆弱性の深刻度はCVSSv3 (<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/CVSSv3.html>) に基づき以下の基準で設定しています。

| 深刻度 | CVSSv3基本値 | 脆弱性に対して想定される脅威 |
|-----------------|-----------|---|
| Critical | 9.0~10.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・リモートからシステムを完全に制御されるような脅威 ・大部分の情報が漏えいするような脅威 ・大部分の情報が改ざんされるような脅威 |
| High | 7.0~8.9 | |
| Medium | 4.0~6.9 | <ul style="list-style-type: none"> ・一部の情報が漏えいするような脅威 ・一部の情報が改ざんされるような脅威 ・サービス停止に繋がるような脅威 ・その他、Critical/Highに該当するが再現性が低いもの |
| Low | 0.1~3.9 | <ul style="list-style-type: none"> ・攻撃するために複雑な条件を必要とする脅威 ・その他、Mediumに該当するが再現性が低いもの |
| Info | 0 | |

スキャン結果詳細

Critical

SQLインジェクション

深刻度

Critical

CVSS Score: 9.8

CVSS Vector: CVSS:3.0/AV:N/AC:L/PR:N/UI:N/S:U/C:H/I:H/A:H

概要

危険な文字列をSQL文に挿入できます。そのため、攻撃者が任意のSQL文を実行できる危険性があります。

OWASP TOP 10 カテゴリー

A1:2017-インジェクション

ASVS4.0 カテゴリー

5.1.2,5.1.3,5.1.4,5.3.1,5.3.4,5.3.5,13.2.2,13.3.1

解説・対策方法

SQLインジェクションとは、攻撃者が細工した入力値を送信することで、開発者の想定していないSQL文を実行できてしまう脆弱性です。この脆弱性は、利用者の送信した値が適切に前処理されずにSQL文の一部として利用されることが原因で発生します。

この脆弱性を悪用することで、データベースの情報漏洩や情報改ざんなど、開発者の想定していない処理を実行されてしまう危険性があります。

対策方法としては、想定していない値が入力された場合に処理を中断することや、SQL文で特殊な意味を持つ文字を無害化することが挙げられます。後者を実現する一般的な方法としては、パラメータ化クエリやプリペアドステートメントの利用が挙げられます。

参考情報

安全なウェブサイトの作り方 - 1.1 SQLインジェクション | 情報セキュリティ | IPA 独立行政法人 情報処理推進機構 (<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/CVSSv3.html>)

AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



定期開催中！

AeyeScanがよく分かるデモ動画・セミナー

AeyeScanを
検討してみたい方へ

開発を止めない

脆弱性診断

内製化を強かにサポートする

AeyeScan デモ動画



AeyeScanがどんなものか知りたい方向けに、
デモを交えてわかりやすくご紹介。
まずは気軽に使い勝手をチェック！

AeyeScanデモ動画を視聴

AeyeScanの操作を
体験してみたい方へ

脆弱性診断内製化の 取り組みを 成功へ導く！

AeyeScan 体験セミナー



実際の操作を通して、一連の機能を体感。
導入前の不安や疑問をまるごと解消。
“わからないまま”をなくすセミナーです。

ハンズオンセミナーの日程を確認

セキュリティ対策に
お悩みの方へ

最新セキュリティ情報をお届け

ウェビナー

毎月開催

気軽に学べる
無料セミナーです！



最新の事例や対策ノウハウをテーマ別に紹介。
月替わりで学べる無料ウェビナーを開催中。
お気軽にご視聴いただけます！

ウェビナーの日程を確認





AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。